

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ③②

橋町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡をクリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和7年2月1日
責任者：國平 安治
原稿作：宮下 正博
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は

おの はらくちょう やまぐち よしたか
小野原区長 山口 義孝さん

12月号では、頼朝

さんが平家を倒す

ために立ち上がった
ところまでやった。



今月号では、**我々が橋氏の租、
公長親子が頼朝さんに味方する話。**

今回も、タッパ君とミサエちゃん
で説明してくんしゃい。

★印番号の解説

★①平清盛

★②源頼朝

NHK ドラマに
出ていた人？



そうだよ。鎌倉殿の13人では、清盛役はマ
ツケンサンバの松平健さん。頼朝役は
大泉洋さんが演じたネ。(左がマツケンサンバ
の松平健さん、右がヤクルトの大泉洋さん。似てる
かなあ・・・)

前回のおさらい

- ・頼朝が8月17日に拳兵
- ・23日の石橋山の戦いで負け
- ・船で伊豆半島から房総半島へ逃げる
- ・北関東の武士たちが頼朝に味方する
- ・大軍になって鎌倉に着いたところまで。



★③富士川の戦い

古戦場は「平家
越し」と呼ばれ
ていたよ。

どんな所なの？



古戦場から富士山を

静岡県富士市依田橋町
廻りは、工場が立ち並び、古戦場の面影は
アリマセンでした。
富士山が目の前にそび
えたち、小川のはしの
たもとに、「平家越し」
の標柱がありました。

現地の標柱(左)
現地の橋(右)



訂正とお詫び

前月号表面の注意書
き、山口判事の名前
は山口良忠が正で
す。お詫びして訂正
します

●鎌倉到着が、10月6日。
平家の棟梁、清盛★①は、頼朝★②

をそのままにしておけないので、軍隊を派遣
するんだね。

●総大将は平惟盛(清盛の長男重盛の子)。
数万騎を率いて戦うけど、10月20日、
富士川の戦い★③で水鳥の羽音に驚いて慌て
て逃げたという有名な話があるね

●21日に義経が面会★④、23日初論功行賞。

●橋公長・公業親子は12月19日、鎌倉の
頼朝館に参着★⑤。ここから親子の長〜い
物語が始まるんだよ。

●翌日には「弓試し」に出場★⑥。

この戦いに、橘さんは参加したの？

この時は、まだ平家に味方して
いて、平知徳（清盛の4男）の
家来。まだ京にいたはずだよ。



★④義経の面会

義経さんが頼朝さんに会うシーンは有名
よね。公長さんとどっちが早かったの？

ワシから言おう。義経殿は、頼朝殿が鎌倉に
着いた月じゃったが、ワシらは、12月にな
ってしもうた。しかし、畿内にいた武士の中
では早かったんじゃ。



じゃあ、平家の家来が、
なぜ鎌倉にきたの？

それはね、平家が12月2日に平重衡
を総大将にして関東を攻めようとし
た時に、前の右大将宗盛（重衡の兄）
の進めで、重衡軍に付けられたんだ。
注）宗盛役が小泉孝太郎さん



なんで？

理由は、弓馬の名人だけでなく
戦争のときに**作戦をたてること**
が人より優れているからだよ。
平家の中でも、認められていた
んだねえ。

吾妻鑑（鎌倉時代の歴史書）に書かれています



そんな人が、どうして頼朝
さんに味方したの？

一つは「平家の様子を見ると
良い運は傾き始めている」と
考えたこと。



もう一つは、「ずっと前に粟田口で
源為義の家来と喧嘩をした時に、為義
が朝廷に言いつけて裁判にされるかと
怖れていたところ、怒りもせず許し、むし
ろ自分の家来を叱ってくれた恩があっ
た」と吾妻鑑に書かれているねえ

※今月号の出典はすべて吾妻鑑です。役者さんと公長
親子は宮下が作成しました。

★⑤頼朝館に参着

館についた時の様子を教えて

頼朝館が新造になったのが12日。ワ
シは19日にその館を、息子を連れて
訪問したんじゃ。

すると、翌日には三浦殿の椀飯の
儀注があつてのう。頼朝殿からそ
の席に呼ばれたんじゃ。

注）椀飯とは食事でもてなす儀式

うん！畿内の武士達では早く
から味方になってくれたから。
二人の息子の弓試しもしたかったもんね。
だから、酒の悪乗りで「弓始め」も頼んじ
ゃった。 ※ここ大泉洋風に読んでね！

★⑥弓始め

へえ～。敵方だったのに、すぐにみとめら
れたのね。で二人の息子さんはだれ？

左が兄公忠、
右が弟で橘町
の租となる
公業。これか
ら長く出てく
るので、よろ
しくのう。



公忠(兄)

公業(弟)

今回ご紹介した時代は『平安時代末期』でした